



JKA 補助事業 2025 年度福祉機器の整備事業 自己評価報告書（第 1 回）

補助事業に係る自己評価を行いましたので、下記のとおり公表いたします。

日 時：令和 7 年 10 月 1 日

場 所：那珂川福祉会 地域交流スペース

参加者：管理者、部長、事務長、介護主任、介護リーダー、看護師 2 名、
機能訓練指導員、事務員

補助事業担当事務員より、事業の説明があった。評価基準に基づいて採点を行った。（最高点は 5 点）

1. 事業内容

実施計画・体制 評価：4 点

入札等が順調に進み、無事に導入することができた。介護主任や介護リーダーが中心となり、使用方法やルールを定め運用している。

2. 達成目標

事業の実施結果 評価：4 点

事前に機器の設置場所、電源の確保、ストレッチャーの動作確認、設備整備をおこない万全の体制で導入日を迎えることができ、予定通り入浴サービスを開始した。

事業の成果・波及 評価：4 点

特殊浴槽を導入後 1 か月間、入浴者数を集計した。週によっては僅かに下回るときもあったが、4 週平均で利用率は 90%を超えている。

3. 情報発信

事業の実施結果 評価：3 点

補助事業内容のチラシを作成したが、チラシの完成までに時間を要した点と発信時期の計画が不十分であった。関係者への情報発信は無事に終えているが、一部遅れが生じてしまった。

競輪の補助金による事業であること 評価：3 点

上記同様、情報発信の時期に遅れが生じた。

情報発信時には、常に競輪の補助金による事業であることを明示した。チラシにはロゴを使って視認性を高め、QR コードや URL の表示で各ホームページへ容易にアクセスできるように工夫した。

4. 総合評価 評価：4 点

補助事業による機器の更新で安定した入浴サービスの実施が可能となった。利用者にとっては衛生的で入浴が困難な方でも入浴できるようになり温もりを感じることができている。職員にとっては身体的負担軽減に繋がっている。一方で、入浴におけるシャワーバスの認知度が低く利用につながっていないケースもある。利用者には丁寧な説明と声かけをおこないながら、体験に繋げていきたいと考えている。その他、職員会議等では円滑な入浴サービスを行うための仕組みづくりや環境整備を今後も続けていきたい。

補助事業に関する制度の詳細

<https://www.jka-cycle.jp/>

